

ニューファームとのイタリアにおける農薬の販売提携強化について

住友化学は、このたび、オーストラリアの農薬会社「ニューファーム・リミテッド」（以下、「ニューファーム」）と、イタリアにおける農薬の販売提携を強化することで合意いたしました。この合意により、住友化学のグループ会社である「住友化学イタリア」は、「ニューファーム」のグループ会社である「ニューファーム・イタリア」が取り扱う種子処理分野を除く農業用の全ての農薬製品（殺虫剤、殺菌剤、除草剤等）を、8月1日から販売いたします。

イタリアは、果樹や野菜など多様な作物栽培が盛んで、農薬の市場は欧州で3番目の規模です。住友化学は、同国を欧州の農薬ビジネスの重点国と位置づけ、昨年には、持分法適用会社であった「イサグロ・イタリア」を完全子会社化（「住友化学イタリア」に商号変更）するなど、順次、事業体制の整備を進めております。

住友化学は、2010年4月の「ニューファーム」との資本提携以降、同社との間で、農薬製品の販売、製造等の分野における業務提携を進めております。その一環として、イタリアにおいては、「住友化学イタリア」を通じて「ニューファーム・イタリア」の一部の製品を販売し、売り上げを順調に増加させてまいりました。そうした実績も踏まえ、このたび、「住友化学イタリア」が扱う「ニューファーム・イタリア」の製品を、種子処理分野を除く農業用の全ての農薬製品へと大幅に拡大させることとしたものです。今回の合意により、住友化学は、イタリアにおける農薬の製品ポートフォリオを大きく拡充させ、これまで構築してきた販売網を活用しながら、一層の事業強化を図ってまいります。

住友化学と「ニューファーム」は、現在、イタリアを含む世界19カ国で販売提携を実施しておりますが、引き続き、各分野における業務提携を積極的に進めていくことで、農薬事業の強化・拡大につなげてまいります。

以上

【ご参考】 「ニューファーム」および「住友化学イタリア」の概要

社名	Nufarm Limited	Sumitomo Chemical Italia S.r.l.
所在地	オーストラリア メルボルン	イタリア ミラノ
設立年	1957年	1993年（2011年現商号に変更）
社長	Doug Rathbone（ダグ ラスボーン）	Andrea Barella（アンドレア バレラ）
資本金	1,058,920千豪ドル	1,000千ユーロ
出資比率	住友化学 22.98%	住友化学 100%